

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成27年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨	所管課	産業労働部 産業政策課
所在地	甲府市大津町2192-8	設置年月日 (改築年月日等)	平成7年7月7日
指定管理者	公益財団法人やまなし産業支援機構		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県産業展示交流館設置及び管理条例		
設置目的	産業に関する製品の展示等を通じ、情報、技術、文化等の交流を促進し、もって本県における地場産業の振興及び文化の向上を図るため、産業展示交流館を設置する。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積 25,760.6㎡ (第2・3駐車場は含まない) ○建築延面積 9,945.9㎡ ○建物の構造 鉄筋コンクリート(一部鉄骨)造、地上4階建て ○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・貸出用施設 1階 屋内展示場 4,860㎡ 4階:会議室 212㎡ ・屋外:屋外展示場 1,080㎡ 冷暖房設備付・エレベーター1基付 ・第1駐車場(構内) 4,300㎡(250台収容) ・第2駐車場(東側隣接地) 12,383㎡(470台収容) ・第3駐車場(NEC西側) 8,638.3㎡(430台収容) 		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ①利用の承認に関する業務 ②施設及び設備器具の維持保全に関する業務 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	(1) セレス甲府 (2) 甲府市総合市民会館
---------------------	----------------------------

3 利用状況

単位：人、%

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (目標値)
利用率	利用率	34.6%	43.7%	34.6%	
	利用者数合計	34.6%	43.7%	34.6%	
	目標値	33.0%	35.0%	36.0%	37.0%
	目標値設定の考え方及びその理由	リピーター28% 新規 2%			
	対25年度比	-	126.3%	100.0%	106.9%
利用率		34.6%	43.7%	34.6%	37.0%

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成26年度	平成27年度 (計画値)	平成27年度 (実績値)	平成28年度 (計画値)
収入	施設利用料	136,537,350	106,009,000	117,180,100	108,462,000
	指定管理者委託料	0	0	0	0
	その他	17,531,778	14,280,000	14,536,346	14,515,000
	収入合計(A)	154,069,128	120,289,000	131,716,446	122,977,000
支出	人件費	26,163,582	30,408,000	30,279,524	37,950,000
	県への納付金	12,294,400	12,294,000	12,294,400	12,294,000
	管理運営費	105,659,887	76,752,000	86,316,724	72,328,000
	うち外部委託費(B)	25,322,040	25,481,000	23,205,700	22,100,000
	支出合計(C)	144,117,869	119,454,000	128,890,648	122,572,000
収支差額(A-C)		9,951,259	835,000	2,825,798	405,000
外部委託比率(B÷C)		17.6%	21.3%	18.0%	18.0%
利用者一人当たりの経費					

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成27年4月～平成28年3月 実施方法:利用者(イベント主催者)へのアンケート 回答数:70社(回収率:89.7%)
--------------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設や設備の状況	87.1%	8.6%	4.3%	0.0%
②施設のサービス提供	88.6%	10.0%	1.4%	0.0%
③職員・スタッフの対応	88.6%	10.0%	1.4%	0.0%
④施設全体の満足度	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%
⑤再度利用希望	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%
施設全般の満足度	84.3%	14.3%	1.4%	0.0%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ①定期バスを運行してほしい。特に土・日。 ②ホール内トイレの水漏れ ③展示ホール、控室など施設の汚れへの苦情(4件) ④第3駐車場に水溜りが多く駐車スペースが確保できない。 ⑤催しが重なる場合は、準備作業等におけるイベント主催者ごとの指定場所への駐車を徹底してほしい。 ⑥音響設備が不調であった。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ①将来的には、リニア開業を見据えたバスネットワーク再編の中で検討、当面は必要に応じて大規模イベントの主催者がシャトルバス等で対応。 ②部品を交換し、修理した。 ③十分な清掃を指示した。 ④適宜修繕で対応していく。 ⑤イベント主催者に対し、指定場所への駐車を徹底するとともに指定駐車場所を明確に表示した。 ⑥委託業者による点検と調整により改善した。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	業務計画書及び管理運営業務の内容及び基準等に基づき、適正に維持管理業務を行った。設備・備品の故障箇所は、迅速に修繕した。開館から20年目にあたる平成27年度は、補正予算を組み、自主的に設備・備品の修繕を実施し、利用者の利便性向上を図った。	業務計画書及び管理運営業務の内容及び基準等に基づき、適正に実施されている。 また、指定管理者は、その自主的な努力として、設備・備品の修繕を例年以上に実施し利用者の利便性向上に努めている。
運営業務	業務計画書どおり適正に業務を実施した。特に、利用者に対して、宿泊、飲食、設営等の各種業務の手配を指定管理者が一括で行なうワンストップサービスを強化し利用者の利便性向上を図った。	業務計画書に基づき、適正に実施されている。
利用状況	利用率は、実績値34.6%と目標値36.0%を下回った。昨年度に比べ、大規模な全国大会や長期に利用されるCM等撮影が減少したことが主な要因である。	利用率は、目標値を下回っているが、東京都内をはじめ、近隣地域での施設利用の誘致活動を続けている。 誘致活動や利用者の利便性を向上させるワンストップサービス等の取り組みを続けつつ、今後、課題を分析・改善し、目標達成に向けた取り組みが望まれる。
収支状況	昨年度に比べ、14.5%の減収となったが、委託費、光熱水費等の経費削減に努め、設備備品の修繕を実施したうえで2,826千円の黒字を確保できた。	施設利用料や手数料等の収入は減少したものの、経費削減等に努めた結果、黒字を確保できた。
自主事業	11月28日～29日に開催している「甲斐クラフトフェア」は、151の出展者があり、8,433人が来場し、盛況であった。閑散期の利用率向上、収益向上に貢献した。	施設の設置目的の一つである、文化の向上に資する事業であり、利用率向上にも貢献している。自主事業は施設の利用率を向上させると共に、施設の設置目的に貢献するため、新たな事業の企画も望まれる。
利用者満足度	利用者へのアンケート結果は、多くの項目で「満足」「どちらかといえば満足」との回答が98.6%を占めた。ワンストップサービスや利用者へのコーディネート（複数イベントの同時開催やイベント内容に対する提案など）が奏功したと言える。	利用者の満足度は高く、利用者からの意見に対して、速やかかつ適切に対応されていた。

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>目標値の利用件数84件、利用率36%に対し、利用件数78件、利用率34.6%と下回る結果となった。昨年に比べ、大規模な全国大会や長期に利用される撮影関連が減少したことが主な要因である。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>施設全般の管理は適正に行われている。 収支状況は、2年連続で黒字となっている。指定管理者の経費削減努力に加え、利用者に対して、宿泊、飲食、設営等の各種業務の手配を指定管理者が一括で行うワンストップサービスによる営業努力の結果と考えられる。 一方、利用率は、平成26年度実績及び平成27年度目標値を下回っている。大規模な全国大会が開催されなかったことに加え、長期に利用されるCM等撮影が減少したことなどが主な要因と考えられる。 利用率が目標値を下回ったことを踏まえて、今後、利用率向上に向け、一層の努力を期待する。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>施設全般の管理については、利用者の意見を踏まえ、常に最良な状態を目指して管理を行っていく。 利用率向上に向けては、観光推進機構やイベント企画業者などと連携しながら、大規模集会や学会などの誘致に取り組むとともに、都心からのアクセスの良さやワンストップサービスなどをセールスポイントに営業活動を強化し、新たな利用者の獲得とリピーターの定着に努めていく。</p>

7 管理体制(組織図)

平成27年4月1日現在

